



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ  
 コード番号 2489 URL <https://www.adways.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山田 翔  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理担当 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-6771-8512  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無:有  
 四半期決算説明会開催の有無 :有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	10,121	1.7	656	△44.8	907	△10.5	669	△52.5
2022年12月期第3四半期	9,947	—	1,189	—	1,013	—	1,409	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 547百万円 (△87.0%) 2022年12月期第3四半期 4,219百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	17.47	17.46
2022年12月期第3四半期	35.17	35.14

(注) 当社は、2021年12月期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更いたしました。これにより、決算期変更の経過期間となる2021年12月期は第3四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第3四半期の対前期増減率の記載は省略しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	24,540	14,447	57.4	360.71
2022年12月期	27,782	16,322	57.4	402.87

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 14,096百万円 2022年12月期 15,957百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	14.10	14.10
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	4.50	4.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:有

2. 2023年12月期は、当第3四半期累計期間の期中平均株式数から自己株式を除いた発行済株式数である38,349,696株から1株当たりの配当金を算出しております。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	13,500	0.6	800	△52.1	1,120	△25.7	750	△70.4	19.56

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

2. 1株当たり当期純利益は、当第3四半期累計期間の期中平均株式数から自己株式を除いた発行済株式数である38,349,696株を通期平均株式数と仮定して算出しております。

3. 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期3Q	42,004,900株	2022年12月期	42,003,700株
2023年12月期3Q	2,923,880株	2022年12月期	2,394,980株
2023年12月期3Q	38,349,696株	2022年12月期3Q	40,079,198株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

本資料の開示とあわせて、決算説明会資料を開示しております。

また、2023年10月31日(火)に機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け決算説明会を開催する予定であります。

本説明会の動画(2023年12月期第3四半期の業績・事業概況の説明)へのアクセスURLは、開催日同日に当社ウェブサイト(<https://ir.adways.net/>)にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9
3. その他 .....	9
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年9月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、売上高10,121,311千円、営業利益656,225千円、経常利益907,545千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は669,916千円となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第3四半期 連結累計期間 (2022年12月期)	当第3四半期 連結累計期間 (2023年12月期)	増減額 (増減率)
売上高	9,947,257	10,121,311	174,054 (1.7%)
営業利益	1,189,676	656,225	△533,450 (△44.8%)
経常利益	1,013,594	907,545	△106,049 (△10.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,409,754	669,916	△739,837 (△52.5%)

アドプラットフォーム事業においては、先進的な広告手法を用いた全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」において、外部環境の変化や機械学習のロジックの不備があったこと等により売上高が減少いたしました。アフィリエイト広告において、カードローン及びクレジットカード等の金融関連の広告主(クライアント)からの広告需要が拡大したこと等により売上高は増加し、アドプラットフォーム事業全体としての売上高は増加いたしました。

台湾において、景気悪化の影響を受け、台湾企業の広告予算が全体的に縮小しており、売上高が減少いたしました。中国においては主力であるアプリ広告及びブランド広告の需要が堅調に推移したため、海外のエージェンシー事業の売上高は増加いたしました。一方、国内のエージェンシー事業においては、ゲーム及びマンガアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告需要が縮小したこと等により売上高が減少いたしました。その結果、エージェンシー事業全体において売上高は減少いたしました。

以上のようなことから、売上高は10,121,311千円(前年同期比1.7%増)、営業利益656,225千円(前年同期比44.8%減)となりました。

経常利益は、持分法による投資利益及び投資事業組合運用益を計上したこと等により907,545千円(前年同期比10.5%減)、税金等調整前四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したこと等により1,190,209千円(前年同期比48.8%減)となりました。

上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等を計上したことにより669,916千円(前年同期比52.5%減)となりました。

[報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

		前第3四半期 連結累計期間 (2022年12月期)	当第3四半期 連結累計期間 (2023年12月期)	増減額 (増減率)	
外部 売上高	①アドプラットフォーム事業	2,614,248	3,061,463	447,215 (17.1%)	
	②エージェンシー事業	国内	4,320,665	4,167,113	△153,552 (△3.6%)
		海外	1,757,342	1,762,949	5,607 (0.3%)
		合計	6,078,008	5,930,063	△147,945 (△2.4%)
	③その他	1,254,999	1,129,784	△125,215 (△10.0%)	
セグメント利益	①アドプラットフォーム事業	1,178,657	1,103,651	△75,006 (△6.4%)	
	②エージェンシー事業	1,518,664	1,035,858	△482,805 (△31.8%)	
	③その他	99,745	63,669	△36,075 (△36.2%)	

(注) 当社グループは、2023年1月4日付で当社のアドプラットフォーム事業に関する権利義務を新設分割により設立した株式会社ADWAYS DEEEに承継させたこと、並びに本件に付随して当社内の部門を再編したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、全社費用の各報告セグメントへの配分方法を変更しております。また、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益については、変更後の配分方法による算定が困難であることから、変更前の配分方法によって算定しております。

#### ①アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業は、スマートフォン向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」等、当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告の販売及び運用を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、2022年12月期まで順調に売上高を伸ばさせていた全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」において、外部環境の変化や機械学習のロジックに不備があったこと等により売上高が減少したものの、アフィリエイト広告において、カードローン及びクレジットカード等の金融関連の広告主(クライアント)からの広告需要が拡大したこと等により売上高が増加いたしました。その結果、アドプラットフォーム事業の売上高は3,061,463千円(前年同期比17.1%増)となりましたが、今後の更なる事業の拡大に向けた人員強化等を行った結果、セグメント利益は1,103,651千円(前年同期比6.4%減)となりました。

#### ②エージェンシー事業

エージェンシー事業は、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援のため、アドプラットフォーム事業で提供している当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告に限らず、広告商品及び付随するサービスの代理販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、台湾における景気悪化を受け、ゲームアプリの新規タイトルのリリース本数の減少やブランド広告の需要が減少したこと等により、売上高が減少いたしました。しかしながら、中国において、大型案件の新規受注や、ECのセールイベントがあったこと等により売上高は順調に推移し、海外のエージェンシー事業の売上高は増加いたしました。一方、国内のエージェンシー事業においては、ゲーム及びマンガアプリ市場のコモディティ化や、人気アプリがリリースから長期間経過しユーザーにとって新鮮味が失われつつあること等によって、広告主(クライアント)の収益が減少し、広告需要も縮小したため、売上高が減少いたしました。その結果、エージェンシー事業全体の売上高は5,930,063千円(前年同期比2.4%減)となりました。また、人件費の増加やオフィス移転の影響並びに中国での貸倒引当金の計上等により、セグメント利益は1,035,858千円(前年同期比31.8%減)となりました。

※コモディティ化：市場が活性化し、他社が参入し機能や品質などで差がなくなってしまうこと。

#### ③その他

その他は、士業向けのポータルサイトの運営や、インフルエンサーマーケティングの企画運営等の新規事業等により構成されています。

当第3四半期連結累計期間においては、士業向けポータルサイトの運営、インフルエンサーマーケティングの企画運営及びサウナ事業等では需要が増加したものの、前第3四半期連結累計期間において一時的に受注したコンサルティング業務の売上高の減少、生活雑貨の販売事業における販売数の減少等により、売上高は1,129,784千円(前年同期比10.0%減)、セグメント利益は63,669千円(前年同期比36.2%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (2022年12月期)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月期)	増減額 (増減率)
資 産 合 計	27,782,176	24,540,504	△3,241,672 (△11.7%)
負 債 合 計	11,459,944	10,092,637	△1,367,307 (△11.9%)
純 資 産 合 計	16,322,231	14,447,866	△1,874,365 (△11.5%)

## [資産合計]

- ・流動資産は前連結会計年度末より3,797,288千円減少し19,095,668千円となりました。主な要因は、現金及び預金が3,112,416千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産は前連結会計年度末より555,616千円増加し5,444,835千円となりました。主な要因は、無形固定資産が107,682千円減少、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が108,809千円減少、差入保証金が215,508千円減少したものの、有形固定資産が601,871千円増加、投資その他の資産に含まれる長期貸付金が369,512千円増加したことによるものであります。

## [負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より1,410,267千円減少し9,741,469千円となりました。主な要因は、買掛金が448,020千円減少、未払法人税等が850,561千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より42,960千円増加し351,167千円となりました。主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が114,883千円減少したものの、資産除去債務が121,318千円増加、未払費用が28,710千円増加したことによるものであります。

## [純資産合計]

- ・前連結会計年度末より1,874,365千円減少し14,447,866千円となりました。主な要因は、資本剰余金が1,587,849千円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが主に手掛けているインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われれます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。

当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携を行うことで、取引の拡大と売上の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の当社グループにおきましては、売上高は増加しているものの、ゲーム及びマンガアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告需要が縮小、全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」において、外部環境の変化や機械学習のロジックの不備があったこと等による売上高は減少しております。

これらの状況を踏まえ、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の売上高は、13,500百万円を見込んでおります。

また、今後の更なる事業の拡大に向けた人員の増加や貸倒引当金繰入の計上等により販売費及び一般管理費が増加したため営業利益は800百万円、経常利益1,120百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は750百万円となる見通しです。

なお、連結業績予想の修正については、本日(2023年10月31日)開示いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の業績予想並びに第3四半期連結累計期間における連結業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,864,371	9,751,954
預け金	5,376	5,375
受取手形、売掛金及び契約資産	9,202,433	8,065,674
棚卸資産	29,143	60,953
その他	880,923	1,265,542
貸倒引当金	△89,291	△53,832
流動資産合計	22,892,957	19,095,668
固定資産		
有形固定資産	618,498	1,220,370
無形固定資産		
のれん	51,951	757
その他	204,456	147,967
無形固定資産合計	256,407	148,725
投資その他の資産		
投資有価証券	3,341,732	3,232,923
長期貸付金	37,837	407,349
その他	1,286,182	1,269,916
貸倒引当金	△651,440	△834,449
投資その他の資産合計	4,014,312	4,075,739
固定資産合計	4,889,218	5,444,835
資産合計	27,782,176	24,540,504
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,870,072	7,422,052
未払法人税等	1,292,323	441,761
賞与引当金	6,650	25,550
その他	1,982,691	1,852,105
流動負債合計	11,151,737	9,741,469
固定負債		
退職給付に係る負債	13,377	17,644
その他	294,829	333,522
固定負債合計	308,207	351,167
負債合計	11,459,944	10,092,637
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,716,255	1,716,709
資本剰余金	6,947,045	5,359,195
利益剰余金	7,679,628	7,791,061
自己株式	△1,809,235	△2,091,607
株主資本合計	14,533,694	12,775,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	798,152	593,240
為替換算調整勘定	607,730	709,168
退職給付に係る調整累計額	17,502	18,964
その他の包括利益累計額合計	1,423,385	1,321,373
新株予約権	69,298	105,161
非支配株主持分	295,853	245,972
純資産合計	16,322,231	14,447,866
負債純資産合計	27,782,176	24,540,504

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年9月30日)
売上高	9,947,257	10,121,311
売上原価	1,968,714	1,803,884
売上総利益	7,978,542	8,317,427
販売費及び一般管理費	6,788,865	7,661,201
営業利益	1,189,676	656,225
営業外収益		
受取利息	4,383	11,310
受取配当金	4,671	2,964
為替差益	15,664	13,304
持分法による投資利益	118,060	141,924
投資事業組合運用益	28,309	63,931
その他	16,477	23,680
営業外収益合計	187,567	257,115
営業外費用		
自己株式取得費用	2,299	2,799
貸倒引当金繰入額	353,465	—
その他	7,884	2,995
営業外費用合計	363,649	5,795
経常利益	1,013,594	907,545
特別利益		
固定資産売却益	—	19
投資有価証券売却益	1,439,833	386,819
関係会社株式売却益	0	—
特別利益合計	1,439,833	386,838
特別損失		
固定資産売却損	1,159	763
投資有価証券売却損	667	—
投資有価証券評価損	107,675	42,170
減損損失	—	47,572
在外連結子会社リストラクチャリング費用	20,352	4,225
本社移転費用	—	9,443
特別損失合計	129,855	104,174
税金等調整前四半期純利益	2,323,572	1,190,209
法人税、住民税及び事業税	810,237	589,489
法人税等調整額	42,474	△24,564
法人税等合計	852,712	564,924
四半期純利益	1,470,860	625,284
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	61,105	△44,632
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,409,754	669,916



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,470,860	625,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,407,961	△204,155
為替換算調整勘定	275,618	130,888
退職給付に係る調整額	750	△490
持分法適用会社に対する持分相当額	64,600	△4,243
その他の包括利益合計	2,748,931	△78,001
四半期包括利益	4,219,791	547,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,137,919	567,903
非支配株主に係る四半期包括利益	81,872	△20,621

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,929,900株の取得を行いました。また、2023年5月31日開催の取締役会決議に基づき、当社を株式交換完全親会社、当社の連結子会社であるUNICORN株式会社及び株式会社インフルエンサーインベストメントホールディングスの2社を、それぞれ株式交換完全子会社とする株式交換を2023年7月3日付で実施し、自己株式2,401,000株の処分を行っております。この結果、資本剰余金が1,587,849千円減少、自己株式が282,372千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,359,195千円、自己株式が2,091,607千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

資産除去債務の見積りの変更

第1四半期連結会計期間において、本社オフィスの不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、本社オフィス移転のための退去に伴う原状回復費用の新たな情報に基づき、見積りの変更を行いました。

なお、当該見積りの変更により、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ35,373千円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	アドプラットフォーム事業	エージェンシー事業	計				
売上高							
国内	2,614,248	4,320,665	6,934,914	1,254,999	8,189,914	—	8,189,914
海外	—	1,757,342	1,757,342	—	1,757,342	—	1,757,342
顧客との契約から生じる収益	2,614,248	6,078,008	8,692,257	1,254,999	9,947,257	—	9,947,257
外部顧客に対する売上高	2,614,248	6,078,008	8,692,257	1,254,999	9,947,257	—	9,947,257
セグメント間の内部売上高又は振替高	670,573	12,520	683,093	129,049	812,143	△812,143	—
計	3,284,821	6,090,528	9,375,350	1,384,049	10,759,400	△812,143	9,947,257
セグメント利益	1,178,657	1,518,664	2,697,321	99,745	2,797,067	△1,607,390	1,189,676

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,607,390千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	アドプラットフォーム事業	エージェンシー事業	計				
売上高							
国内	2,983,865	4,167,113	7,150,979	1,129,784	8,280,763	—	8,280,763
海外	77,598	1,762,949	1,840,548	—	1,840,548	—	1,840,548
顧客との契約から生じる収益	3,061,463	5,930,063	8,991,527	1,129,784	10,121,311	—	10,121,311
外部顧客に対する売上高	3,061,463	5,930,063	8,991,527	1,129,784	10,121,311	—	10,121,311
セグメント間の内部売上高又は振替高	490,075	245,236	735,311	115,475	850,787	△850,787	—
計	3,551,538	6,175,300	9,726,839	1,245,260	10,972,099	△850,787	10,121,311
セグメント利益	1,103,651	1,035,858	2,139,509	63,669	2,203,179	△1,546,954	656,225

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,546,954千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、2023年1月4日付で当社のアドプラットフォーム事業に関する権利義務を新設分割により設立した株式会社ADWAYS DEEEに承継させたこと、並びに本件に付随して当社内の部門を再編したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、全社費用の各報告セグメントへの配分方法を変更しております。また、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益については、変更後の配分方法による算定が困難であることから、変更前の配分方法によって算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。